

第二次 東松山市花いっぱい推進計画 (案)

令和8年4月
東松山市



目次

第1章 東松山市花いっぱい推進計画の概要

- 1 はじめに
- 2 東松山市花いっぱい推進計画とは
- 3 現状



第2章 東松山市花いっぱい推進計画の全体像

- 1 将来像（基本理念）
- 2 基本方針
- 3 施策の体系

第3章 主な取組内容と指標・目標値

- 1 基本施策Ⅰ 花いっぱい運動の担い手の育成 ～「人財」^{ひと}づくり～
- 2 基本施策Ⅱ 花をツールにコミュニティを活性化 ～地域づくり～
- 3 基本施策Ⅲ 花による地域環境の整備 ～仕組みづくり～

第4章 取組の推進体制

- 1 取組を推進する体制づくり
- 2 計画の進捗管理

（参考資料）

- 1 計画策定経過
- 2 第二次花いっぱい推進計画策定ワーキング・グループ メンバー構成
- 3 各種アンケート・聴き取り調査結果（一部抜粋）



第1章

東松山市花いっぱい推進計画の概要

(1) 花いっぱい運動の歴史

花いっぱい運動の取組は、昭和57年から自治会を中心に行われた花壇の整備が契機となったものです。これは、本市が、日本最大のウォーキングイベントである「日本スリーデーマーチ」の開催都市として、日本各地、世界各国から訪れるウォーカーを花で歓迎しようと始めました。

翌年の昭和58年には、市民憲章の理念を「花いっぱいのまちづくり」で実践しようと、市民憲章推進協議会により各自治会に花いっぱい推進員を委嘱し、推進してきました。

この取組は、平成8年からは、ハートピアまちづくり協議会に引き継がれ、市民の連携と協働による花いっぱい運動を通じ、魅力あるコミュニティの醸成を図っています。

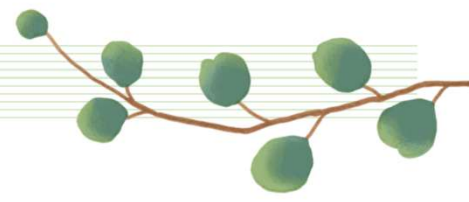
こうして、花いっぱい運動はウォーキングとともに、東松山市のアイデンティティとなり、現在では、自治会のほかに、個人が主体的に行う取組も活発化しており、四季折々の花が市内の花壇を彩っています。

(2) 花いっぱい運動の目的

花いっぱい運動を通じて人と人との繋がりや交流を深め、地域の環境を美しく整えることで住民の心を豊かに育み、地域への愛着心を養うことを目的としています。



2 東松山市花いっぱい推進計画とは



(1) 計画策定の趣旨

市では、花いっぱい運動の推進を通じて、地域環境の美化に貢献するとともに、地域・事業者・行政が協働し、地域コミュニティの醸成に取り組んできました。

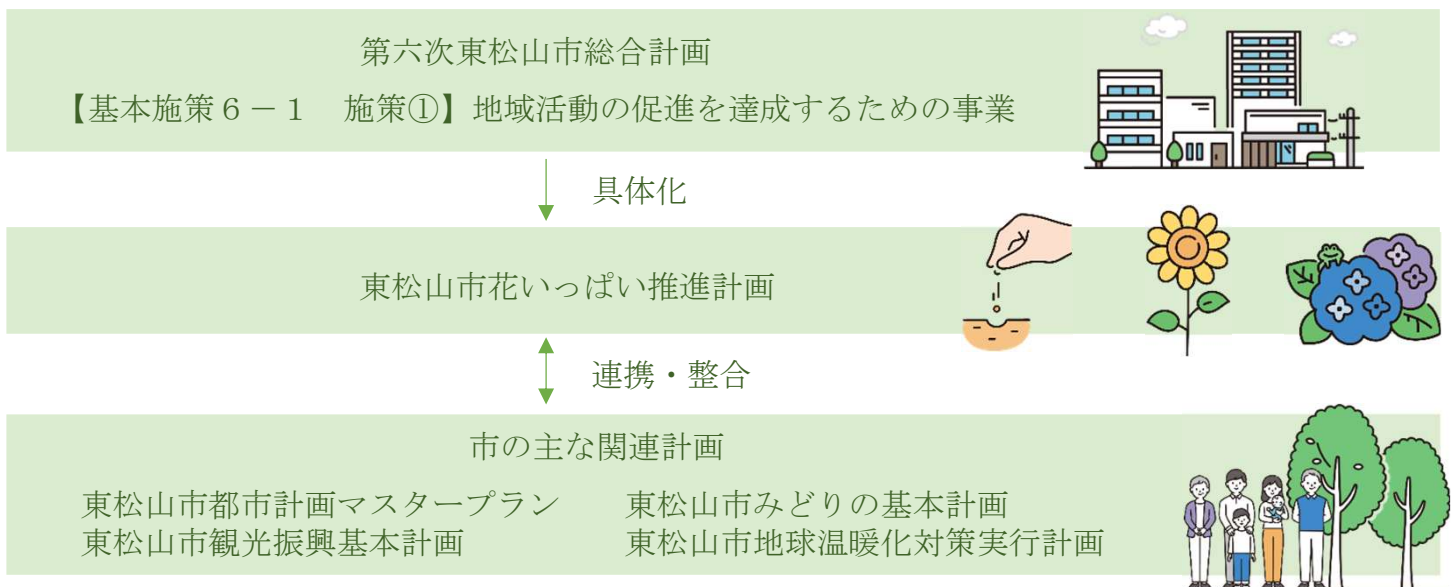
しかし、今後人口減少や少子高齢化が進むことで、地域内での人と人との交流が減少し、地域づくりを進めていくための基盤であるコミュニティが弱まっていくことが懸念されます。

こうした中、花いっぱい運動を一層推進することで、まちに潤いとやすらぎをもたらし、世代や立場を超えた人々の交流を促進し、地域のつながりの継続を図ります。さらには、市民参加を一層促すことで、地域への誇りや愛着心の向上を図ります。

このため、これまでの成果を基盤としつつ、中長期的な取組の推進方向を定めるため、本計画を策定します。

(2) 計画の位置づけ

東松山市花いっぱい推進計画は「第六次東松山市総合計画」を上位計画として、他の関連する計画（東松山市都市計画マスタープラン等）と連携して策定しています。



(3) 計画の期間

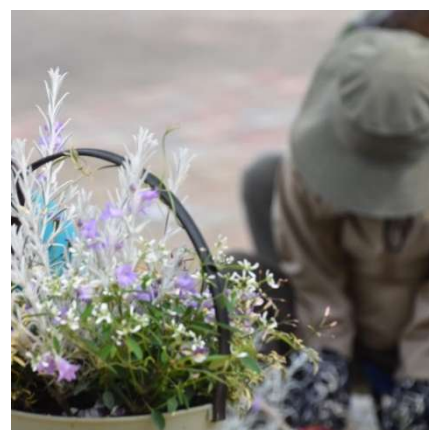
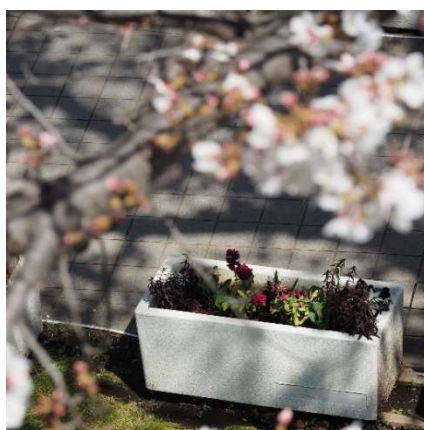
計画の期間は、第六次東松山市総合計画の計画期間との整合性を図り、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。



市では、市の花「ぼたん」のほか、年間をとおして「花」を楽しめる「東松山ぼたん園」をはじめ市内各所の公園や、公共花壇、自治会花壇、商店会のプランター等、市民や本市を訪れる人々が日常的に花とふれあえる景観が形成されています。

これは、自治会や本市の市民憲章推進協議会による花いっぱい運動以降、第一次東松山市花いっぱい推進計画に基づく取組まで継続して、地域、事業者、行政が個別にあるいは協働して取り組んできた花いっぱい運動によるものです。

第二次東松山市花いっぱい推進計画を策定するにあたり、第一次計画を検証するとともに、自治会、フラワーサポーター、市民活動センター、花卉事業者へのアンケート調査をもとに現状を整理しました。





フラワーサポーター

平成25年から公共花壇整備のサポートを目的に、フラワーサポーター制度を導入しました。活動に参加される方は、花に関するコミュニティの醸成、知識向上とスキルアップ、社会貢献活動を目的としている方も多く、参加者は活動に意欲的です。また、事業者の社会貢献活動の一環として、令和4年から事業者フラワーサポーター制度を導入し協働しています。令和7年10月末現在では、市民113名と1事業者に登録いただいています。

また、公共花壇だけでなくコミュニティガーデン（地域の花壇/自治会花壇）の整備を希望するフラワーサポーターも多く、市では、自治会等とフラワーサポーターとの橋渡しを行っています。

個人

市民一人ひとりが自宅でも「花」を楽しめるよう、講座等を開催し、花に興味を持つきっかけづくりに取り組んでいます。過去に開催した講座は、いずれも好評で、市民の花の知識を深めたいという意識の高さがうかがえます。

また、自宅で花いっぱい運動を行っている方を市広報紙のミニコーナーでの記事掲載や、オープンガーデンの開催検討等、個人の取組の情報発信等も重要です。



公共花壇

10か所の公共花壇は、市が整備をし、平成26年から多年草・宿根草を取り入れ持続可能な花壇作りを目指しています。草花を楽しむのはもちろんのこと、プランターやレンガ等造作物を用い、花壇のセンスアップと、整備・管理の軽減の両面から取り組んでいます。フラワーサポーターの協力や市内事業者からのアドバイスを参考に、協働により管理を行っています。

自治会

以前は、自治会の花いっぱい運動は種から育苗し、各自治会花壇に植えるのが主流でした。この活動をきっかけに地域住民が集まり、コミュニケーションを図る機会となり、コミュニティ形成の一翼を担っていましたが、近年、自治会担当者の高齢化や担い手の減少により、花いっぱい運動の継続が困難となる自治会が増加しています。

そのような状況を鑑み、市では、令和元年度からハーフ苗（種まきから苗になるまでの手間を省いた苗のこと）を配布し、また、担い手の減少に対応するため、自治会の花いっぱい運動に参加を希望するフラワーサポーターと自治会との橋渡しも行っています。なお、花いっぱい運動を実施している自治会は80自治会（令和7年10月末現在）です。



市民活動センター

市民活動センターの花壇は、各センターの地域活動推進員が主体となり、種から育苗した花苗等を用いてフラワーサポーターと協働により整備を進めています。また、花壇整備の知識を各自治会に対して情報発信するほか、種まき・育苗講習会を開催しています。

そして、各地区ごとにガーデニング講座や花いっぱいコンクール開催等、花いっぱい運動の推進に取り組んでいます。

花育講座

こどもたちが草花に触れる機会を提供し、豊かな心を育むことを目的とした「花育講座」を開催しています。市内小・中学校16校を対象に開催しており、花壇整備に関する講座や、花材を二次活用したクラフト教室を行っています。市内公立保育園での実施も検討しており、幼少期から花や緑に親しむことで、市のアイデンティティの継承と次世代の担い手育成につなげていきます。





公共施設にある花壇（市民活動センターを除く）

43か所の市施設及び小・中学校に花壇またはプランターを設置しています。各施設の職員が年2回の花苗、年3回の種子を育苗し、花壇整備を行い、来庁者・来校者を花で迎えています。一部花壇では、フラワーサポーターの協力のもと整備を行っています。

商店会

花いっぱい運動に参加している商店会には、春と秋の年2回花苗を配布しています。各店舗前や付近の公園等、主に人通りが多い場所にプランター等が設置されており、訪れる人を花でもてなしています。また、市が配布するチラシや講座により育苗の知識向上を図っています。

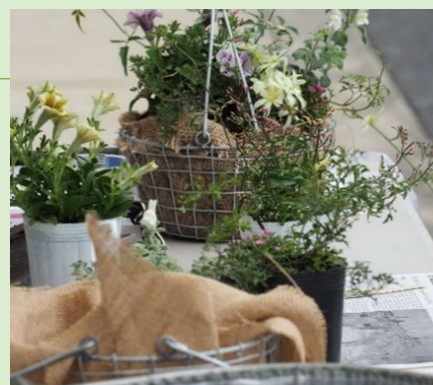


きらめき出前講座

きらめき出前講座では、「身近な花を使った楽しみ方」を学ぶ講座を開催しています。主な内容は、押花を活用したポストカードづくりやスワッグ（草花の壁飾り）づくり等、花材の二次活用を推進した講座で、シニアクラブや放課後子ども教室等幅広く参加いただいています。屋外だけではなく、家の中でも花を身近に感じ、装飾等を楽しむ機会を提供することで、花に親しむ習慣を広め、花いっぱい運動の推進を図っています。

花卉事業者

商店会や小・中学校等では、市内花卉事業者が育てた花苗を活用しています。また、公共花壇整備のアドバイスや市民向け講座の講師も担っていただく等、花卉事業者と市が協働し、花いっぱい運動の活性化を図っています。





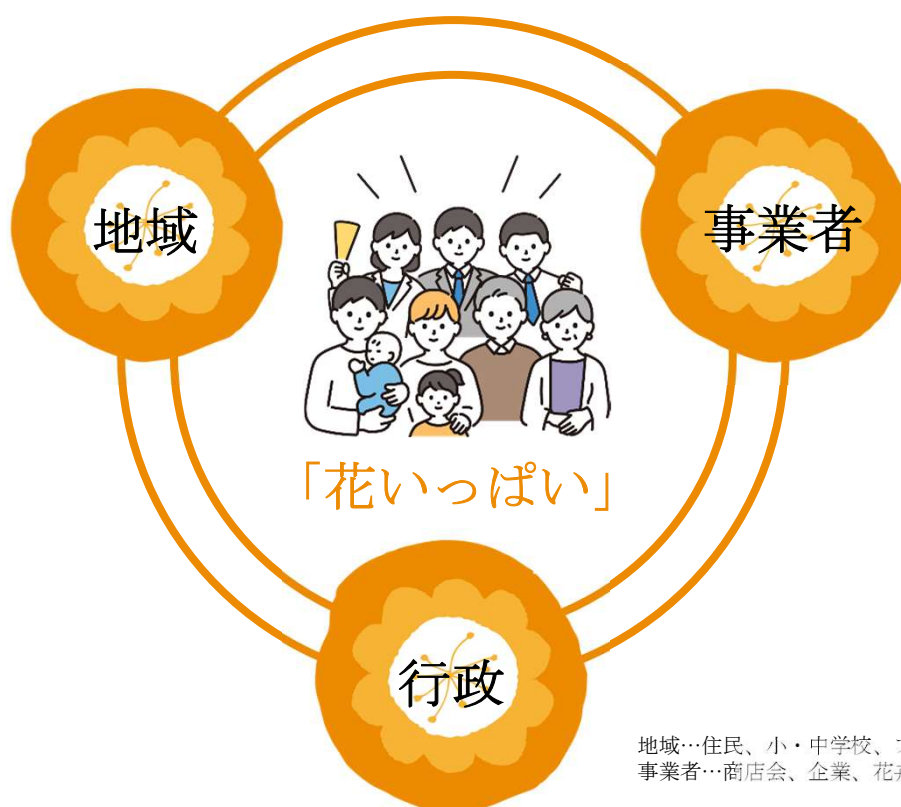
第2章

東松山市花いっぱい推進計画の全体像

1 将来像（基本理念）

地域、事業者、行政が一体となって、「花いっぱい」のまちづくりを推進することで、地域活動の活性化が図られ、市内の各所に四季折々の花が咲き誇る、美しい東松山市を目指し、下記のとおり将来像（基本理念）を定めます。

「花いっぱい」をとおしてつくる、地域に活気が満ちあふれ、季節の花が咲き誇る魅力あるまち



地域…住民、小・中学校、フラワーサポーター、自治会
事業者…商店会、企業、花卉事業者 等

2 基本方針

将来像に基づき、花いっぱい運動を推進するために3つの方針を基本方針とします。

(1) 人^{ひと}財^{ひと}づくり ※本計画では、人は財産であるとの考え方から「人^{ひと}財^{ひと}」としています。

輝きと、おもてなしの心を持って、主体的に活動する人を応援します。

(2) 地域づくり

花いっぱい運動で人と人がつながり、活気あふれる地域づくりを支援します。

(3) 仕組みづくり

花いっぱい運動を通じて美しい地域環境を実現するため、地域、事業者、行政が相互に連携・協働する仕組みを整えます。

3 施策の体系

将来像の実現に向けて、令和8年度からの5年間で取り組む施策及び主な取組を

以下に示します。施策及び主な取組は3つの基本施策に基づいて体系化します。

基本施策	施策	主な取組
Ⅰ 花いっぱい運動の 担い手の育成 ～「人財」づくり～	1 フラワーサポーター 制度の充実	①活動の推進 ②花の知識向上への支援 ③活動の拠点となる場所づくり
	2 個人の花いっぱい 運動の推進	①花に触れるきっかけづくり ②個人活動の発信 ③個人の花いっぱい運動をPRできる場づくり
Ⅱ 花をツールに コミュニティを活性化 ～地域づくり～	1 自治会花いっぱい 運動の活性化	①種子や花苗等の配布 ②花に関する講習会の開催や情報発信 ③各自治会の活動への支援
	2 各地域の特色ある花いっ ぱい運動関連事業の推進	①ハートピアまちづくり協議会の取組の発信 ②市民活動センター花壇の市民参加型維持管理 ③まるごとBOTAN PARKプロジェクトの推進
	3 公共花壇の整備・活用	①季節ごとの花の植替えを推進 ②花壇の花材の二次活用 ③公共花壇の情報発信
Ⅲ 花による地域環境の整備 ～仕組みづくり～	1 連携による花いっぱい 運動の推進	①市役所の花関連事業の連携・協働 ②他の自治体等との連携 ③学校等との連携
	2 事業者との協働による 花壇整備	①公共花壇の整備等への事業者の参加促進 ②企業版ふるさと納税制度の活用 ③商店会の花いっぱい運動の推進



フラワーサポーター活動

まるごとBOTAN PARK
プロジェクト



花育講座



第3章

主な取組内容と指標・目標値

1 基本施策Ⅰ 花いっぱい運動の担い手の育成 ～「人財」づくり～

花いっぱい運動を活性化するためには、花に興味を持つきっかけをつくり、

花に携わる人材を増やし、活動の環を広げていくことが重要です。一人ひとりの花いっぱい運動を推進する力が、今後の活性化へのキーポイントとなります。そのため、担い手となる人材の育成を積極的に進めていきます。

主な取組① 活動の推進

花を植える楽しさを体験できる活動を通じて、フラワーサポーターの増員を目指します。さらに、フラワーサポーターである目印（エプロン等）をつけ、公共花壇等で自主的に活動ができるように活動の幅を広げます。また、フラワーサポーター交流会の開催や、活動情報の発信を通じて、モチベーションの向上と、認知度の拡大を図ります。

指標 フラワーサポーターの登録者数	
令和6年度実績値 111人（累計）	⇒ 令和12年度目標値 143人（累計）

主な取組② 花の知識向上への支援

草花に対する知識を深め、スキルアップを目的としたフラワーサポーター向けの講座を継続して開催します。



指標 フラワーサポーター向け講座の開催	
令和6年度実績値 3回	⇒ 令和12年度目標値 3回

主な取組③ 活動の拠点となる場所づくり

活動の拠点となる場所をつくり、フラワーサポーター同士のコミュニケーションが図れる機会をつくります。

指標 ちょこ花活の開催回数	
令和6年度実績値 10回	⇒ 令和12年度目標値 13回

※「ちょこ花活」とは、市役所庁舎花壇の花柄摘みや軽微な除草作業を自由参加で行う活動。

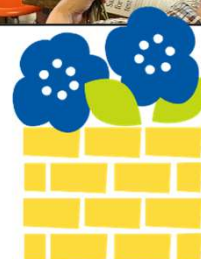
施策1

フラワーサポーター制度の充実

施策 2
個人の
花いっぱい
運動の推進

主な取組① 花に触れるきっかけづくり

初心者向けのガーデニング講座や草花を使った工作等、花に触れるきっかけとなる講座を継続して開催します。
また、きらめき出前講座を実施することで花に関する学習の機会を拡充し、活動の推進につなげます。



指標 花いっぱい運動推進のための講座開催	
令和 6 年度実績値 2 回	令和 1 2 年度目標値 2 回

主な取組② 個人活動の発信

オープンガーデンを開催し、個人の花壇を一般公開し、個人活動発表の場を設けます。併せて、各種団体や事業者の花壇を募集します。



指標 オープンガーデン登録数	
令和 6 年度実績値 0 件（累計）	令和 1 2 年度目標値 1 0 件（累計）

主な取組③ 個人の花いっぱい運動をPRできる場づくり

個人が行う花いっぱい運動を情報発信するため、自宅の庭づくりや花づくりを市広報紙・ホームページ・公式SNS等で紹介する場をつくります。

指標 市広報紙・ホームページ・公式SNSで情報発信	
令和 6 年度実績値 1 回	令和 1 2 年度目標値 3 回

2 基本施策Ⅱ 花をツールにコミュニティを活性化 ～地域づくり～

花とウォーキングは、本市の重要なアイデンティティであり、地域活動の重要な要素です。花いっぱい運動は、自治会をはじめ、市民活動センターを中心とした地域コミュニティ醸成の一翼を担ってきました。今後も自治会やハートピアまちづくり協議会等各種団体と連携し、花をツールにコミュニティの活性化を図ります。

また、花の見ごろ情報や協働での取組等を積極的に市公式SNSやホームページで、情報発信します。

施策 1

自治会花いっぱい運動の活性化

主な取組① 種子や花苗等の配布

種子からの育成を希望する自治会には、引き続き種子の配布を行います。一方、「ハーフ苗」(※)については、バリエーションを考慮しながら、今後も継続して配布していきます。



※種まきから苗になるまでの手間を省いた苗のこと。

指標 ハーフ苗及び種子の配布	
令和6年度実績値 5回	⇒ 令和12年度目標値 5回

主な取組② 花に関する講習会の開催や情報発信

各地区で育苗・種まき講習会等を開催します。
また、育苗方法や花壇整備について情報発信を行います。



指標 育苗方法等の情報発信	
令和6年度実績値 17回	⇒ 令和12年度目標値 21回

主な取組③ 各自治会の活動への支援

自治会連合会と連携して、花いっぱい運動関連事業を開催し、花いっぱい運動に取り組む自治会の活動を広め、コミュニティの活性化を図ります。

指標 花いっぱい運動関連事業の開催	
令和6年度実績値 1回	⇒ 令和12年度目標値 1回

施策 2

各地域の特色ある
花いっぱい運動
関連事業の推進

主な取組① ハートピアまちづくり協議会の取組の発信

各地域のハートピアまちづくり協議会が取り組む、花を活用した下記事業の活動状況について情報発信を行います。

- ・大岡地区 風車の見える丘
- ・野本地区 野本さくらの里
- ・平野地区 花・歩・里プロジェクト



指標 ハートピアまちづくり協議会が行う取組の情報発信

令和 6 年度実績値
1 回



令和 1 2 年度目標値
3 回

主な取組② 市民活動センター花壇の市民参加型維持管理

市民活動センターの花壇を、地域交流の場であるコミュニティガーデンと位置づけ、地域住民やフラワーサポーターの参加による維持管理を進めます。

指標 市民活動センター花壇でのフラワーサポーター活動

令和 6 年度実績値
1 4 回



令和 1 2 年度目標値
2 1 回

主な取組③ まるごとBOTAN PARKプロジェクトの推進

より多くの市民が市の花「ばたん」を楽しめる環境を作るために、まるごとBOTAN PARKプロジェクトを推進します。
ばたんの育て方に関する講習会を継続して開催し、知識を広めていきます。

また、各地域でばたんを楽しめるよう市民活動センターでばたんの管理を継続します。



指標 講習会の開催

令和 6 年度実績値
3 回



令和 1 2 年度目標値
3 回

施策3
公共花壇の
整備・活用

主な取組① 季節ごとの花の植替えを推進

花卉事業者や花壇造成の専門家との協働により、多年草・宿根草の活用や、春や秋に季節の花を植える等、季節感を大切にしたい、コンセプトを明確にした花壇づくりを継続して行います。駅前や市役所前等、多くの人が目にする花壇をはじめ、公共花壇の整備はフラワーサポーターと協働で行います。



指標 公共花壇の季節ごとの植栽（各花壇ごと）	
令和6年度実績値 2回	⇒ 令和12年度目標値 2回

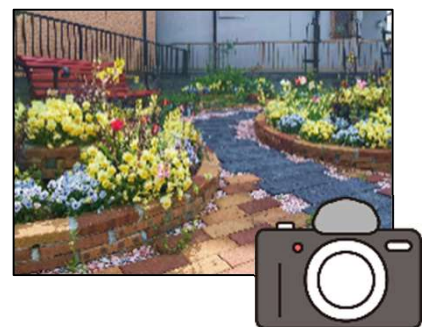
主な取組② 花壇の花材の二次活用

花壇の花を庁舎内に飾り、来庁者をおもてなしすると共に、押花やドライフラワーの材料として講座等に活用します。併せて、花材の再利用方法を市民と共有するためチラシ等を作成し、長期間に渡り様々な方法で楽しむことができる花壇のつくり方や花材の活用方法を発信していきます。

指標 花材の再利用方法チラシ等作成	
令和6年度実績値 2回	⇒ 令和12年度目標値 4回

主な取組③ 公共花壇の情報発信

市広報紙・ホームページ・公式SNS等をはじめ、各種媒体を通じて、市民に花の見ごろや花壇整備の活動状況を情報発信します。



指標 市公式SNS投稿	
令和6年度実績値 9回	⇒ 令和12年度目標値 14回

3 基本施策Ⅲ 花による地域環境の整備 ～仕組みづくり～

花壇整備は、フラワーサポーターや市内事業者、市役所各部署等と協働で

整備を行い、市民に愛される地域環境の整備を進めます。また、こどもたちが花と触れ合う機会を充実させ、豊かな心を育みます。

主な取組① 市役所の花関連事業の連携・協働

市の花に関する取組は、市ホームページの「ひがしまつやまの花」等に掲載し発信をします。また、市のイベントにおいても、プランター等で花を飾るとともに、様々な取組について展示等を行い、花いっぱい運動の理解と参加を促進します。



指標 庁内各事業間のコラボレーション企画

令和6年度実績値
3回



令和12年度目標値
4回

主な取組② 他の自治体等との連携

全国の花関連事業を推進している他の自治体と連携して、花によるまちづくりの情報交換や交流を行い、花によるまちづくりの推進を図ります。



指標 他の自治体との情報交換等

令和6年度実績値
2回



令和12年度目標値
4回

主な取組③ 学校等との連携

学校や保育園等のこどもたちが草花に触れる機会を作り、豊かな心を育むため、フラワーサポーター等の協力を得て、こどもたちと一緒に花いっぱい運動に取り組む花育講座を開催します。



指標 花育講座の開催

令和6年度実績値
6回



令和12年度目標値
8回

施策1

連携による
花いっぱい
運動の推進

施策 2
事業者との
協働による
花壇整備

主な取組① 公共花壇の整備等への事業者の参加促進

事業者（市内団体含む）の社会貢献活動の一環として、事業者フラワーサポーターによる公共花壇整備の取組を拡充します。また、事業者の花いっぱい運動を市広報紙・ホームページ・公式SNS等で紹介します。



指標 事業者フラワーサポーターの登録数	
令和 6 年度実績値 1 者（累計）	→ 令和 1 2 年度目標値 3 者（累計）

主な取組② 企業版ふるさと納税制度の活用

花いっぱい運動への支援を目的とした企業版ふるさと納税制度による寄付を継続して募集します。寄付を受けた場合、公共花壇に企業名の入った看板の設置等を行います。



指標 企業版ふるさと納税を活用した事業の実施回数	
令和 6 年度実績値 1 回	→ 令和 1 2 年度目標値 1 回

主な取組③ 商店会の花いっぱい運動の推進

商店会等には年 2 回の花苗配布を引き続き行います。また、草花の維持管理に役立つ情報を提供します。



指標 維持管理方法の情報提供	
令和 6 年度実績値 1 回	→ 令和 1 2 年度目標値 2 回



第4章

取組の推進体制

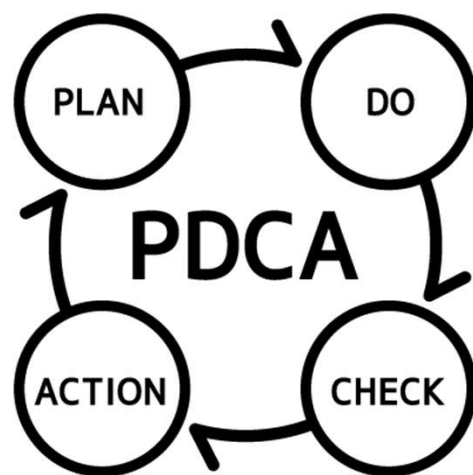
本計画の将来像である『花いっぱい運動をとおしてつくる、地域に活気が満ちあふれ、季節の花が咲き誇る魅力あるまち』を実現していくため、推進体制及び各主体が担う役割、取組の進捗管理の手法を示します。

1 取組を推進する体制づくり

本計画は、地域、事業者、行政が一体となり、また、相互に連携、協働しながら取組、計画を推進します。

2 計画の進捗管理

本計画の実効性を高めるために、PDCAサイクルの考え方のもと、取組の進捗管理を行います。PDCAマネジメントサイクル（計画→実行→確認→改善）を用いて進捗の管理を行い、取組を着実に実行するとともに、取組状況に応じて、適宜改善を図ることとします。また、進捗管理を各取組主体と連携して行うことで、本計画の将来像の実現に向けた効果的な取組に繋がっていきます。



参考資料

1 計画策定経過

令和7年 7月	第二次東松山市花いっぱい推進計画策定ワーキング・グループ 第1回会議
8月	市民活動センター聞き取り
	フラワーサポーターアンケート
	自治会長アンケート
	花卉事業者アンケート
令和7年11月	第二次東松山市花いっぱい推進計画策定ワーキング・グループ 第2回会議
令和8年 1月	パブリックコメント募集
3月	第二次東松山市花いっぱい計画策定市長決裁

2 第二次花いっぱい推進計画策定ワーキング・グループ メンバー構成

所 属	職名	氏 名
政策財政部 政策推進課	主任	吉川 世莉奈
政策財政部 広報広聴課	主査	坂口 亘
総務部 管財課	主任	岸澤 彦明
環境産業部 農政課	主任	佐藤 菜穂子
環境産業部 商工観光課	主査	西木戸 利枝（リーダー）
都市計画部 都市計画課	主任	大塚 美帆（サブリーダー）
建設部 建設管理課	主任	松本 卓磨
学校教育部 学校教育課	副主幹	八木原 実穂
子ども家庭部 保育課 まつやま保育園	副園長	小峯 佳美
（事務局） 市民生活部 地域支援課 市民生活部 地域支援課 花いっぱい推進室 市民生活部 地域支援課 花いっぱい推進室	課長 室長 主事	松崎 正吉 横田 幸子 安部 萌子

参考資料

3 各種アンケート・聞き取り結果（一部抜粋）

	フラワーサポーター	花卉事業者	自治会	市民活動センター
調査方法	アンケート	アンケート	アンケート	聴き取り
回収率	16.7%	45.5%	57.0%	100%

フラワーサポーター

- フラワーサポーターに登録及びご参加いただいている理由を教えてください。
 - ・花が好きで、皆さんが目にする場所がきれいになるとうれしい。
 - ・花が好きなので、花好きさんが集まるこの活動での交流は楽しみの一つです。
 - ・植物をより多く知ることができたり、手入れの方法を身につけられたりできたらと思ったからです。
 - ・東松山市に40年近くお世話になっているので、自分にできそうな事で少しでも、市政に協力したいと思い参加しています。楽しく活動していますし、知り合いも増えました。
- 公共花壇の植え込みや整備以外に活動したいことがあれば教えてください。
 - ・地区の公会堂等の花壇整備
 - ・小中学校や福祉施設の花壇の手入れの手伝い（高齢者施設・障害者施設・保育園等）
- 「花いっぱい」を通じたまちづくりのアイデアがあれば教えてください。
 - ・スリーデーマーチの時期に花いっぱいを目指し、管理も楽な花壇作り。
 - ・咲き終わった花材で、オブジェ等をつくってかざりたい。
 - ・駅前や庁舎前がきれいになったのは良いと思います。でも、自治会の花壇はまちじゅうにたくさんあるので、そちらも皆できれいにすれば本当の意味での「花いっぱい」になると思います。
 - ・小中学生と保護者、高齢者、障害者と介護者の方と一緒に花いっぱい活動を行いたい。ボランティア体験希望者にいつでも気軽に「花いっぱいボランティア」に参加して欲しい。

花卉事業者

- 東松山市の花いっぱい推進（花いっぱい運動）について、印象や感想を教えてください。
 - ・とても素晴らしい活動だと思います。市役所前や駅前と市内の多くの場所に季節ごとの花があることで訪れた方々にも良い印象を与えていると感じます。
 - ・花の業界にいる者として、とてもうれしく、さらなる推進をしてもらえればと思います。
 - ・自治会によって花壇のきれいさにばらつきがあるように思います。小中学校や活動センターなどさまざまな場所で花を見る機会があるのは、とても良いと思います。
- 花卉事業者が考える「花いっぱい」のまちづくりについて、アイデアがあれば教えてください。
 - ・私の知らない活動ですで行われているかもしれませんが、こども向けの講座や小学校、幼稚園、保育園などでこどもたちと一緒に花壇の植え込み等の「花育」的なものをたくさんしていただきたい。
 - ・さまざまな種類の草花があると良いと思います。グラスなど、花でなくても良いのではと思います。
 - ・芸術性を持った管理や植物を取り入れることで、より良いまちづくりになっていくと思います。

参考資料

自治会

- 宿根草・多年草を自治会花壇に取り入れているか教えてください。
 - ・できるだけ多年草が残るように配置している。
 - ・宿根草・多年草は、翌年以降のデザインに影響するため、取り入れていません。
 - ・取り入れている。（花以外でも葉が観賞できるもので、植えっぱなしに。）植えっぱなしで暑さや寒さに強く、水やりをしなくても大丈夫な植物。
 - ・植え付けの面積が小さく、取り入れていない。
 - ・広めの花壇なので、多年草のユリが植えてあります。
- どういう仕組みがあったら花いっぱい運動を新たに、または継続して行いますか。
 - ・老人会等各種団体にも参加していただいております。
 - ・ハーフ苗から植え付けていく形式で良いと思います。
 - ・自治会という枠組ではなく、好きな人が継続してできる仕組みがあれば良いと思う。
 - ・年々、役員が高齢になっていくので、夏の朝夕の水やり、雑草取り等大きな負担になってきていると思います。自治会で継続していけるか否か、分かりません。例えば、役員(あるいは会員)の家にプランターで植える等も一つの方法だと思います。
 - ・夏場の除草作業が、委員さんたちの負担になっている。除草への対応が課題である。
 - ・花いっぱい推進員も高齢となり、退任する方も出ており、補充も難しい状況にあります。また、市からのハーフ苗等の配布事業も財政事情により、縮小が予測されます。つきましては、植え替え不要な苗木（市の花であるばたん等）の配布を行い、花壇整備（草取りのみ）に移行できれば、花いっぱい運動の継続が可能と思われます。
 - ・来年度から、ボランティア活動としての“運動”にしたいと思っている。10月に募集予定。毎年の役員が、役目としてやるよりは、ちょっとした茶話会や花見なども計画して、楽しい活動としたい。
 - ・花の種類等をもう少し増やしてほしいです。

市民活動センター（聞き取り）

- ハーフ苗配布の効果（市民活動センターを通じて各自治会に配布）を教えてください。
 - ・種から育てるのは大変なのでハーフ苗の効果はかなりあります。
 - ・種だとうまくいかないこともあるのでとても効果はあると思う。現状、気温等の影響もあり種まきは難しいと思う。
 - ・ハーフ苗は植えやすいし定植すればきれいに咲く。種ほど手間もかけず失敗もないので良い。
- 花壇の現状と今後を教えてください。
 - ・石灰と肥料を入れて土を作った。今後、日当たりが良く乾きやすい花壇については、保水性のある土を入れようと思う。水やりの負担がないような花壇づくりをしたい。宿根草・多年草を植え、グリーンを中心とした花壇づくりもしたい。
 - ・現状の花壇数を維持していき、宿根草・多年草を後方に植えて、手前に一年草を植えていくようにしたいと思う。
 - ・花壇をデザインし、レイアウトしていきたいと考えている。
- 宿根草・多年草の活用有無を教えてください。
 - ・今後も少しずつ増やしていきたい。挿し芽をしている。
 - ・宿根草・多年草は、センター花壇全体に積極的に取り入れている。
 - ・宿根草・多年草を増やして購入する苗を減らしていければと思っている。

